Kids total support project **2020年度版**

子どもと関わる人のための

実践心理学講座 全12回（前期）

子どもと関わる人には『心理学』の知識が不可欠です。

『心理学』を自分のこととして学び理解していくことはそう難しいことではありませんが、それを支援者として上手に活用するためには、実践に即した考え方が必要になってきます。言葉の一つひとつ、表情の一つひとつが、支援を必要とする人にとって大切なメッセージになります。

実践心理学講座では、事例を交えながら、わかりやすく心理学の知識を伝えていくとともに、それをどのように現場で活用していったらよいかをお話ししていきます。支援者としての学びと、支援者同士の交流・息抜きの場としてご活用ください。

※1回のみ、興味のある内容のみの参加も可能です。お気軽にご参加ください。

4月19日（日） 清水市民活動センター共催	**認知行動療法で読み解く問題行動①（オペラント学習による理解）** 子どもが問題行動を起こすには、そのきっかけになるものと行動による何らかの報酬が存在します。子ども行動をより良いものに変化させていく方法を学びます。
5月31日（日）	**認知行動療法で読み解く問題行動②（認知学習による理解）** 人の感情や行動は、事実そのものではなく、それをどう捉えるか（認知）によって影響をうけます。認知のメカニズムと、子どもたちの不安への対応について学びます。
6月21日（日）	**認知行動療法で読み解く問題行動③（レスポンデント学習による理解）** 不登校をどのように見立て、再登校へと結びつけていくか。認知行動療法の考え方を使って、子どもの不安な心への関わり方についてお話しします。
7月 5日（日）	**子どもと関わる人の自己理解（肯定的な声かけや態度が子どもの心を強くする）** 交流分析の「エゴグラム」を使って自己分析をした後、人が生きる上で大切な「存在認知（ストローク）」についてお伝えしていきます。
8月 2日（日）	**ストレスへの理解と対応（子どものレジリエンスを育てるために）** 多くの問題はストレスから始まっています。子どもたちがレジリエンス（心の弾力性）を身につけられるように、ストレスについての心理教育の方法をお伝えします。
9月20日（日）	**家族理解のすすめ（家族心理学によるライフサイクルとシステムの考え方）** 昨今の子どもを取り巻くいろいろな問題は、子ども個人の問題ではなく、家族関係（又は環境）の問題でもあります。家族心理学を学ぶことで子どもを見る視点が大きく広がります。

＜後期の内容＞（10月）時間の構造化とゲーム分析、（11月）発達障害の基礎知識、（12月）心のメッセージを読み取る
（1月）アセスメントの極意、（2月）心を伝える技術、（3月）講座のまとめと事例検討会
※日にちは、会場がとれ次第随時お知らせしていきます。ホームページ等でご確認ください。

対　　象：子どもと関わる仕事やボランティアをしている人、学生、保護者の方も参加可

時　　間：9:30～12:00（受付:9:15～9:30）
参 加 費：1回 1500円（資料代を含む）
定　　員：25名（先着順）
会　　場：清水市民活動センター　会議室
静岡市清水区港町2丁目1-1 TEL054(340)1010
※無料駐車場がいっぱいの場合は、有料駐車場をご利用ください。

＜参加申し込み＞

氏名、住所、連絡先、職種（仕事内容）を明記の上電話またはEメールにてお申し込みください。

■電　話：054(369)0354（大村）
■Eメール：kapparapa.1998@gmail.com

講　師

川島多美子（NPO法人 かっぱらば編集室 理事長）

1998年に、静岡市清水区興津に子どもの居場所『かっぱらば編集室』を開く。
現在は、NPO法人かっぱらば編集室の運営を続けるとともに、スクールカウンセラーとして小・中学校を訪問。
学校や地域での相談活動やカウンセリング、また講座・講演等の活動を行っている。
＜資　格＞
公認心理師、日本カウンセリング学会認定カウンセラー
家族相談士、特別支援教育士

「チームカウンセラー養成講座」4月12日開講（全5回）のご案内・お申込みはこちらから →

主　催：NPO法人 かっぱらば編集室（団体の詳細は、ホームページ「かっぱらば編集室」で検索）、K-happiness チームカウンセラー資格認定協会